



【 Batam City is discussing the Green Building Code. 】

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 31 年 1 月 24 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-4710
ki-somu@city.yokohama.jp

インドネシア・バタム市で、CASBEE 横浜の経験を生かした技術協力を行っています

インドネシア・バタム市にて、1月16日及び17日にワークショップを開催しました。

バタム市は、シンガポールからフェリーで約1時間の位置にある島都市です。本市は、バタム市に対して、環境省「平成30年度低炭素社会実現のための都市間連携事業委託業務」を通じてグリーンビルディング制度の策定支援を行っています。

そこで、ワークショップ1日目には本市建築局より「CASBEE」（建築環境総合性能評価システム）を紹介し、バタム市のグリーンビルディング制度の運用体制構築に向けた協議が行われました。



また、2日目には、市内企業等6社が、グリーンビルディングに貢献しうる環境技術（省エネ、排水処理、廃棄物処理等）を紹介し、現地企業及び現地商工会等から高い関心を得ました。

「第10回持続可能な都市に関するハイレベルセミナー」で発表しました

1月21日から22日に、インドネシア・バリで開催された「第10回持続可能な都市に関するハイレベルセミナー」に、温暖化対策統括本部と国際局の職員が参加し、本市のSDGs未来都市推進の取組や、Y-PORT事業について発表しました。



このセミナーは、ASEAN地域における持続可能な都市構築に向けた取組や効果的な施策を関係者間で共有し、それらの普及・拡大を目的として開催されました。会議では、本市が掲げるゼロ・カーボンに関する質問が寄せられたほか、本市の技術協力に対する関心が寄せられました。

また、Y-PORT事業でのプロジェクトが進むASEAN地域の政府関係者や、廃棄物処理や温暖化に取り組む企業とのネットワーキングを行いました。

JICA 横浜で企画展示「Global Savers-ヒトを救う、ヒトを守る、防災協力最前線-」が開催

防災協力についての企画展示がJICA横浜にて開催中です。多くの自然災害を乗り越えてきた日本だからこそその経験を活かし、その被害を未然に防ぐ知恵や技術を開発途上国と共有し、現地の人を守る協力をしています。

この企画展示では、途上国での防災協力等に対する取組を写真や映像で紹介する他、スタンプラリーやユニフォームの試着等の参加型の大人から子供まで楽しめる内容となっています。



また、シティネット横浜プロジェクトオフィスの活動紹介や多言語による災害に対する情報発信の例として横浜市の津波避難情報板や広報誌の展示等、横浜市の取組も紹介されています。

企画展示は3月24日まで開催しています。

<https://www.jica.go.jp/yokohama/event/2018/181207.html>